

県下の交通事故(6月30日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
56年	1,736件	32人	2,223人
55年	1,810件	68人	2,325人
比較	-4.1%	-52.9%	-4.4%



第52号

発行所
甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府(0552)37-7827



話合う家族で事故のない世界

夏の交通事故防止県民運動

7月21日～8月31日

この夏はマナーと
ゆとりとゆずりあい

毎年七、八月は、夏休みの解放感や、レジャー交通等により、交通事故が多発する時期です。この夏の交通安全を確保し、とくに子供と老人を目標として交通安全思想の高揚を図り、すべての人が正しい交通ルールとマナーを実践し、習慣づける目的で、七月二十一日から八月三十一日までの間「夏の交通事故防止県民運動」が実施されます。県交通安全対策本部が決めたおもな実施事項は次のとおりです。

子供と老人を守る

- 運動の重点
- 1 歩行者、自転車利用者、とくに子供と老人の交通事故防止
 - 2 無謀運転追放、とくにスピードといぬわり運転による事故防止
 - 3 シートベルトとバイク(原付車)のヘルメット着用
 - 4 暴走族追放のための地域総合対策の推進
 - 5 夜間における交通事故防止

- の横断などによる交通事故を防止するために
- 1 交通安全指導、教育の推進
 - (1) 家庭における夏休み中の交通安全話し合いの活発化
 - (2) 学校における夏休み中の交通安全指導の徹底
 - (3) 子供と老人、母親の交通安全教育の推進

- 2 正しい自転車の乗り方指導の徹底
- (5) 安全な遊び場の確保と遊び方の指導
 - 生活ゾーン対策の推進
 - (1) とびだし(せん線)の整備
 - (2) 自転車の集中場所に於ける駐車場の確保
 - (3) 商店街、住宅街等の交通環境の整備

- 3 無謀運転追放、とくにスピード、いぬわり運転による事故防止
- (4) 正しい交通ルールの実践



シートベルトの着用はドライバーの安全運転の第一歩です

- と無謀運転をさせないため
- 1 無謀運転の防止
 - (1) 若年運転者に対する指導、教育の強化と社会的責任の自覚の徹底
 - (2) 安全五則の励行

- 2 ゆとりある運転の励行
- (1) 睡眠不足などによるいぬわり運転、わき見運転などの防止
 - (2) ゆとりあるレジャー等の計画設定と規制速度以内での走行

- 1 シートベルト及びヘルメット着用の促進
- (1) シートベルト着用効果と正しい着用方法の指導の強化
 - (2) 「ヘルメット着用指導票」によるノーヘル運転者の着用の促進
 - (3) シートベルト、ヘルメット着用重点日による指導の徹底
 - (4) シートベルト着用の「モデル事業所」及び「モデル地域」の指定を中心とした地域ぐるみ着用運動の推進
 - (5) 高校生、女性の安全運転とヘルメット着用の指導強化

- 6 暴走族グループへの不参加措置の徹底
- 7 信号無視、ジグザグ運転などの暴走行為及び犯罪行為を見たら110番通報するなど住民一体の暴走族追放の推進
- 夜間における交通事故防止
- 1 夜間走行のスピードダウンの徹底
 - 2 自転車の反射器材の点検整備の推進
 - 3 夜間飲酒等により道路をふらついて歩かないことへの徹底
 - 4 夜間外出時の明るい衣服の着用、及び反射材のちよう付の徹底

安全のため

●減速時の不安定性

減速時、加減速時に危険が増大するということよりも、減速が困難になり、減速時の不安定性を増大させる、そのために大事故になることが多いということである。日ごろは経験的に、どのくらいの速度のときにブレーキを踏めば、どのくらいの制動距離で停止するかは、運転者にはわかっているはずである。

●減速に弱い人と車(2)

東海大学教授 村野賢哉

速の部類に入るが、凍結した道路では早過ぎるのだ。せいぜい十キロか十五キロくらい(乗用車)に落とさねばならない。

逆に、十分に摩擦力のあつた状態で、高速走行中に急ブレーキをかけ、車輪をロックしたとき、このときに、スキッドで大きく、大きく反り返り、減速に弱い人、後傾には非

力(慣性力)を妨害するから、つんのめることにならぬ。

ペタラン優良運転者の証言では、安全運転の原則は、フットブレーキはいよいよ止まるまでにはなるべく踏まないこと、アクセルとギヤ操作で減速をすることが望ましいという。力学的にいえば、これが摩擦力的安定性が

第一で、すべり摩擦力は、停止するときにならぬ。人間は減速に弱い。自動車の急ブレーキが、いかにこわいかわからない。力学的な視野で書いてきたが、さらに減速のこわさは、元来人間は、減速に弱点を持っているという。加速は元来よく知らかかっている人間が、減速はしぶしぶと思いが悪いという。一般的な精神構造を持っている。これは、人間の身体構造が、二足直立歩行形になっていること、からきているというの、筆者の説である。つまり、四足歩行の動物に比較して、重心の位置が高く、静止状態では不安定である。その歩行形態は、高い重心の位置を前傾させて、バランスをくずすことから前進力が生まれ、それが歩行という形になる。早い移動になるほど、前傾姿勢が大きくなる。その反対に、後傾には非

常な弱点を持つ。後進は下手だ。また、四足動物の前脚はブレーキを司っているが、人間はその前脚を手に開放したので、ブレーキがなくなってしまう。

野球のスライディングは、四足動物の急ブレーキに戻った形だ。人間は加速に適合し、減速には弱い形態という特性が、その特徴だと考えたい。

前進には強いが、後退には不安がつきまとう。スタートは嬉しいが、止まることは苦手で、思い切りが悪い。

こうした、身体の特性からきた心理的なものと、力学的に運動する物体は、減速側で不安定になりやすいということがありながら、人間の開発してきた技術がまた、加速側の技術開発に大きな力を注いできた。減速技術については、対症療法的であるという技術上の欠陥と、どっちを向いても減速に弱いのが現実だ。かくて減速工学が必要なのだ。

暴走族を追放するために

- 1 市町村の暴走族追放宣言の採択などによる暴走族追放気運の醸成
- 2 未成年者に不必要に大きな二輪車を買いたたえないなど保護責任の徹底
- 3 家庭、学校、職場等での車両点検による不正改造車の追放
- 4 暴走族が集まりやすい場所、広場の管理の徹底
- 5 暴走族追放三原則による「しない」「させない」「ゆるさない」の趣旨の徹底
- 6 暴走族グループへの不参加措置の徹底
- 7 信号無視、ジグザグ運転などの暴走行為及び犯罪行為を見たら110番通報するなど住民一体の暴走族追放の推進

夜間における交通事故防止

- 1 夜間走行のスピードダウンの徹底
- 2 自転車の反射器材の点検整備の推進
- 3 夜間飲酒等により道路をふらついて歩かないことへの徹底
- 4 夜間外出時の明るい衣服の着用、及び反射材のちよう付の徹底

県安協常任顧問に
菊岡平八郎氏

県交通安全協会の常任顧問としてご指導をいただいております。木村武氏は、関東管区警察局長に昇格され、後任に警察庁警備課長の要職に就任されました。菊岡平八郎氏は、ご協会の常任顧問として、ご指導をいただくこととなりました。よろしくご指導をお願いします。





犯罪被害者救済基金を手渡す吉田専務 (右)

県交通安全協会(中村太郎会長)は、さる五月二十八日、甲府市宝一丁目二丁目一機山において、昭和五十六年度定期総会を開催し、

県安協定期総会開く

表彰規定を一部改正

- ◇四月六日(十五日) 春の全国交通安全運動 いろいろな羽根五万本、ボスター六千八百枚、パンフレット一万三千部、リフレット三万三千七百部、横断旗四千六百本、ポンビー六十本、新入学児童用腕章一万本、映画三本
- ◇四月二十三日 正副会長会議、理事会、評議員会合同会議
- ◇五月二十日 二輪車安全運転推進委員会
- ◇五月三十日 正副会長会議、理事会、評議員会合同会議
- ◇六月一日 機関紙第四十九号発行
- ◇六月十三日 自転車安全教育推進委員会
- ◇六月二十日 機関紙第四十八号発行
- ◇六月三十日 七月十日(八月三十一日)夏の交通事故防止運動
- ◇九月五日 機関紙第四十九号発行
- ◇九月十二日 正副会長会議、理事会、評議員会合同会議
- ◇九月十九日 第十四回交通安全写真コンテスト審査
- ◇九月二十一日(三十日) 秋の全国交通安全運動
- ◇十月十四日 二輪車指導員講習会
- ◇十月十四日 第二十二回県下中学生交通安全弁論大会
- ◇十一月十日 交通安全功労者・優良運転者等表彰式
- ◇十二月十日 自転車安全整備士指導員会設立
- ◇三月十日 機関紙第五十一号発行
- ◇三月二十八日 正副会長会議、理事会、評議員会合同会議
- ◇甲府家裁に協力し交通違反少年の補導講習、映画の貸出し、交通PR誌「人と車」配付、全日交主催の各種講習会に受講者派遣、高校生二輪車安全運転講習・原付実技講習・自転車安全教育の実施、運転免許更新時講習、行政処分者講習、安全運転管理者講習、教育所指導員等講習

山梨県交通安全協会 昭和55年度事業報告

関東管区表彰に輝いた人たち

安協表彰規程の一部改正、財団法人犯罪被害者救済基金募金等について協議しました。統一して県警本部網倉交通部長から、最近の交通事故の状況について説明を受け、交通事故防止に対する県民の意識高揚のため不断の努力を続けることとしました。

犯罪被害者救済基金に 三十万円を寄付

県安協では中村会長の代理として吉田専務理事が、このほど県警本部を訪ね、犯罪被害者救済基金として、三十万円を寄贈しました。この基金は、通り魔犯罪や爆弾犯罪などの凶悪犯罪に、ある日突然まきこまれる

優良二輪車指導員 晴れの受賞

全日交、二輪車安全運転推進委員会では、このほど



高野副会長に 紺綬褒章 東京の半蔵門会館において優良指導員表彰を行い、全国で九十五名が表彰されました。本県関係の受賞者は次の三名です。望月悟(富士町) 望月忠一(下部町) 八重森仁(韭崎市)

安全運転五則

- ① 安全速度を必ず守る
- ② カーブの手前でスピードを落とす
- ③ 交差点では必ず安全を確認する
- ④ 一時停止で横断歩行者の安全を守る
- ⑤ 飲酒運転は絶対しない



雨の日運転は慎重に

一 運転を始めるときは、ワイパーや灯火の点検を怠らぬ。二 急ブレーキは避け、減速はスムーズに。三 降りはじめたとき、雨は急な降りをはじめるときは、歩行者や自転車に気をつけ、また、降りはじめはとくに滑りやすいので注意し、ゆとりをもち、四 ゆっくり走る。五 雨のときは、視界が狭くなるので、晴天時より速度を落とす。六 雨のときは、視界が狭くなるので、晴天時より速度を落とす。七 雨のときは、視界が狭くなるので、晴天時より速度を落とす。八 雨のときは、視界が狭くなるので、晴天時より速度を落とす。九 雨のときは、視界が狭くなるので、晴天時より速度を落とす。

山梨県交通安全協会会員の ための災害共済のお奨め

万人は一人のために 一人は万人のために

※ 保険会社の職員が内容説明に伺います

提供団体 山梨県交通安全協会

引受会社 **協栄生命**

甲府市丸の内三丁目20-3
TEL 0552 (22) 4836代

新規購入 映画の紹介

山梨県交通安全協会では新しく次の映画を購入しました。無料でお貸しします。ご利用ください。一 交通自衛隊：NHK制作 16ミリ、カラー、27分 運動者向

二 新交通戦争 一 あなたの家の前 16ミリ、カラー、30分 一般向

交通 教室

疲れたときは甘い物を 停車してすぐに食べるな

ます。職業運転者はもちろんのこと、企業活動のため、あるいはレジャー等、車を使用する機会はずっと増えています。しかも、自動車の運転は、ドライバーの健康と体力を阻害するさまざまな要因を持っています。そこで、健康を維持し安全運転を続けられるための基本的な対策として、正しい食生活と体の機能を向上させる体力づくりを考えてみましょう。

自動車の運転免許所持者は、すでに四千万人を超え、二十歳から六十歳までのいわゆる働き盛りの男性は、十人中八人までがドライバーであるといわれています。

規則的な食生活を人間の身体の内臓変化(栄養素と身体機能)は、神経系や内分泌系の作業を受けて、生体リズムが形成されています。一方、人間は、一日三回食事をとりまです。この食事を規則的にとることが、生体リズムとのかねあいから重要なことです。食事のとり方が不規則

クルマの運転と食生活

にあります。同時に、胃や腸の運動も抑えられています。そこで、自動車を運転する場合には消化のよい、しかも栄養価の高いものを少量にとることです。蛋白質の多い食物を、米飯など多量の澱粉類をとると眠気を誘いますので運転には危険です。卵や牛



運転するときは、消化のよい栄養価の高いものを少な目に

乳などのような栄養価の高い食品をとることがよいでしょう。脂質は、食べものが胃に滞っている時間が長く、腹持ちはよいのですが、もたれることもあるので注意する必要があります。

空腹はイライラのもと 一方、腹ペコの状態を運転することはやめましょう。空腹がひどいと精神的にイライラすると同時に、精神的、神経的な疲れもかえって増大し、事故の原因にもなりかねません。

原因にもなりかねません。また、運転をやめていきなり食事をすることはよくありません。十分のんびり軽い体操などをして気を落ち着けて、精神的な緊張を解いた後で、ゆっくり食事をとりましょう。

目にはビタミンAを 自動車の運転には目が大切です。目に必要なビタミンAが不足しないように、野菜や果物を十分にとり、ビタミンAを多く含む動物性食品も多量にとるようにしましょう。

目にはビタミンAを 自動車の運転には目が大切です。目に必要なビタミンAが不足しないように、野菜や果物を十分にとり、ビタミンAを多く含む動物性食品も多量にとるようにしましょう。

神経・感覚的な面でも、かなりのストレス状態にあり長蛇の列ができるような場合には、とくに空腹状態ですと、イライラが高じて怒りっぽくなります。こんなときは気分転換するしかありません。アメ玉をなめたり、チョコレートをかじるのも一つの方法です。脳や神経の栄養源はブドウ糖です。



創立10周年記念大会

十周年、決意新たに 県交母が創立記念大会

県交母の定期総会

最近、原付バイクが人気を集め、保有台数の増加とともに交通事故も激増しています。このため、県二輪車安全推進委員会(吉田文男委員長)は、県警の指導のもとに、二輪車安全普及協会(荻原茂会長)の協力を得て、本年四月から全国基準による原付技能講習を実施しています。この講習は、原付免許試験合格者を対象として、昭和五十一年から各警察署車位ごとに県下一円にわたって、警察署内庭を講習場として実施されています。講習の受講対象者は、原付免許試験に合格した者だけでなく、原付免許試験を受けようとする者を初め、そのほか受講を希望する者までに広がりました。このほか講習修了証明書発行の前提として、「見きわめ」制度のとり入れや、原付指導員の増員、パナソニック感を体得させるうえで有効な講習コースを設定しています。このように全国基準による講習を始めてから、五月末までの受講者は一、六九六人で、出動した原付指導員は延一九七人、警察職員は延八七人です。原付免許は、学科試験だけで取得できるということから、免許人口も増えています。安全意識を身に付けて、正しい技能を修得して、交通事故の加害者、被害者にならないよう、この技能講習を、原付免許取得しようとする人びと全員が、受講されることを望みます。(運転免許課)

加者から集めた交通遺児への募金、一万四千五百六円を、山梨みどり奨学会へ寄付しました。

「彼の腕は間違っても事故なんかやらかさない」と自信た、ぶりの若者が、夜明け、デイスコを出たあと、人影のない街をオートバイで暴走して事故をおこし、自ら命をおとし、同乗の友が重傷を負うという映画で、生命の尊さ、家庭の暖い心のふれ合いの大切さを訴えています。

東海地震 楽譜と歌詞。東海地震 東海地震 東海地震...

しい恐怖を訴えている。三 交通安全だよ ドラえもん 16ミリ、カラー、16分 幼児向 この映画は、こどもたちのアイドルとして、人気絶頂にある「ドラえもん」を登場させて、交通安全の基本を幼児に親しみやすく、わかりやすく教えている。四、死に急ぐ若者たち 16ミリ、カラー、30分 一般向 「彼の腕は間違っても事故なんかやらかさない」と自信た、ぶりの若者が、夜明け、デイスコを出たあと、人影のない街をオートバイで暴走して事故をおこし、自ら命をおとし、同乗の友が重傷を負うという映画で、生命の尊さ、家庭の暖い心のふれ合いの大切さを訴えています。

成果あがる賞揚制度

二年間に一六、一〇八人を表彰 全員が処分軽減される

県警察では、長期間無事故無違反で経過した運転者を賞揚し、安全運転と事故防止の推進役になってもらうため、五十四年六月一日から免許証を更新する際、表彰する制度を実施して二年が経過しました。

この間に表彰を受けた人は、金賞（九年以上無事故無違反）一〇、七〇一人、銀賞（六年以上九年未満）二、〇三六一人、銅賞（三年以上六年未満）三、三七一人、計一六、一〇八人で、免許更新者の一〇％です。

この表彰は、悪質運転者を厳しく処分する一方、無

事故、無違反の優良運転者には恩恵を与える制度です。

表彰を受けた人で、この二年間行政処分を受けることとなった人は、事故六六人、違反三四人の計一〇〇人で、内容も軽微なため全員が恩恵により処分が軽減されました。

受賞者一、〇四六人のアンケート調査によると、受賞を機に「さらに無事故無違反を続けたい」と回答した人が約八〇％を占めており、また、行政処分の対象となった人は、受賞者の〇・〇六％と極めて少なかったことは、この表彰制度が、安全運転の意識づけに役立っていることを示しています。



昨年の第1部最優秀賞 一手をあげる習慣を— 甲府市小沢正司氏

県安協では、県警本部等の後援を得て、第15回交通安全写真コンテストの募集を、次のとおり行います。

◇趣旨
交通安全の写真撮影を通じて、交通安全問題に対する理解と関心を高めるとともに、この写真を用いて展示会を開催するほか、ポスターの作成、機関紙掲載等の方法により、交通安全に対する啓発指導に資するため。

あなたも写真を

第15回交通安全写真コンテスト募集要綱

- ◇題材 第一部 一般的に交通の場面を撮影したもの（道路交通の状況、よい交通、悪い交通、交通安全教育、交通安全施設、交通安全運動、その他交通安全活動の状況等）
- ◇第二部 交通事故現場の状況を撮影したもの。
- ◇印刷 第一部、第二部とも白黒
- ◇審査員

締め切りは 8月15日

- ◇賞 第一部、第二部共 最優秀賞各一名、賞状、賞金各二万円
- ◇賞 賞各二名、賞金各一万円
- ◇賞 賞各五名、賞金各五千円
- ◇賞 賞各五名、賞金各三千円
- ◇賞 佳作若干名、賞金各二千円
- ◇賞 応募者に記念品を贈呈（但し入賞者を除く）
- ◇応募規定 ①応募作品は未発表のもの、他に発表予定のないものに限り、撮影の時期は問わない。
- ②応募作品には必ずネガを添えて提出すること。ネガのないものは入賞しない。
- ③応募作品およびネガは返却しない。
- ④応募作品の著作権は主催者に帰する。
- ⑤応募作品の裏面には必ず応募票を貼り、次のことを記入すること。住所、氏名、題名（事故写真については事故原因）
- ⑥審査は交通安全思想の高揚に役立つもの及び写真技術等を重視して行う。
- ◇主催 財団法人山梨県交通安全協会
- ◇後援 山梨県警察本部 山梨日日新聞社 山梨県交通安全母の会連合会

ヘルメット着用指導票

原動機付自転車に乗車する際のヘルメットの着用は義務づけられています。今後は下欄の指導事項を遵守して安全運転を励行してください。

指 導 事 項
ヘルメット
ヘルメットを着用していない
ヘルメットを着用しているが、規格品でない
・工事用ヘルメット
・その他
着用方法が適当でない
・ひもが締めでない
・その他
服 装
①着用していない
②着用しているが、
・運転操作の邪魔になる
・夜間視認性が悪い
・サンダル等履物不適
・その他

あなたのためにヘルメットを守りましょう

山梨県警察・山梨県交通安全協会

原付ドライバーはヘルメットをかぶりましょう

原付ドライバーの、ヘルメット着用率の向上と合わせて、正しい乗車服装による安全運転の励行を、原付自転車による交通事故の被害を軽減するため、県交通部と県交通安全協会では、五月二十一日から「ヘルメット着用指導票」(上図)を活用し、原付ドライバーに対して、ヘルメ

ットの着用と正しい乗車服装による安全運転の励行を強力に呼びかけています。

この指導票には、ヘルメットと服装についての指導事項が記載されており、街頭活動中の警察官が、走行中の原付ドライバーに対し、「ヘルメット着用指導票」について、具体的に指導し、指導した事項を、指導票に記入していただくように見えています。

(交通企画課)



毎日が不安と緊張

中富町交通指導員 板沢征子

不特定多数の人を指導する交通安全指導のむずかしさは、この仕事に就いて十年の今日に至るまで、ますます増えています。

毎日が不安と緊張の連続です。

そんな中で、行政の組織は当然ですが、任意の団体にもいろいろの型の交通安全教室がもたれています。

中富町の老人交通安全クラブも昭和五十年秋に結成され、以来それぞれ活動が続けていますが、幸い事

習会を開いて大きな成果をあげています。

また、町では六十五歳以上のお年寄りに一日温泉招待のレクリエーションの場があります。この機会を利用して、精神的にも強い



会福祉協議会で九百八十七名のクラブ員に対し「夜光入りのタスキ」を交付しました。

結果論ですが、身に付けることは、精神的にも強い

記載して交付しています。

また、この指導票の裏面には、ヘルメットの効用や県内原付ドライバーのヘルメット着用率が低いこと、ヘルメットの選び方、正しいかぶり方が、わかりやすく記載されており、原付ドライバーの指導に実効をあげています。

あなたが疲れていませんか

運転と疲労

運転疲労発見法

- ◇アクビができる
- ◇まばたきの回数が増える
- ◇眼をショボショボさせ、さかんにこする
- ◇帽子をアミダにかぶる
- ◇ハンドルのにぎり位置が

県下一の
広いコースで 早い上達を!

伝統ある当校で
1日も早く免許証を あなたの手に

財団法人
山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内
TEL 05528-5-0752

一番下になる

- ◇いねむりははじまる
- ◇スピードが早くなる
- ◇おそくなったりする
- ◇センターラインをオーバーする

神経感覚疲労発見法

- ◇眼がチラチラする
- ◇眼がかすむ
- ◇眼がおもくなる
- ◇めまいがする
- ◇口がねばつき、ツバが出る
- ◇耳がとおくなり、耳鳴りがする
- ◇手足がふるふる
- ◇食欲がない

事故防止申し合わせ

県自転車安全教育推進委員会では、六月八日、ニュー機山で関係者十八名が出席して委員・幹事合同会議を開き、昭和五十六年度事業計画、自転車安全整備士制度の推進などを審議、決定するとともに、自転車事故の現状を踏まえて関係機関、団体等が連絡協議して安全対策を推進し、事故防止に努めることを申し合わせました。